



かわじま

議会だより

No.141

埼玉県川島町議会
令和5年4月25日

桜花爛漫
(川島町役場)

3月定例会

2 ~ 5

3月定例会

委員会の動き

6 ~ 7

3月定例会

各議員の賛否

8

一般質問

町の考えを問う

9 ~ 11

特別委員会

12

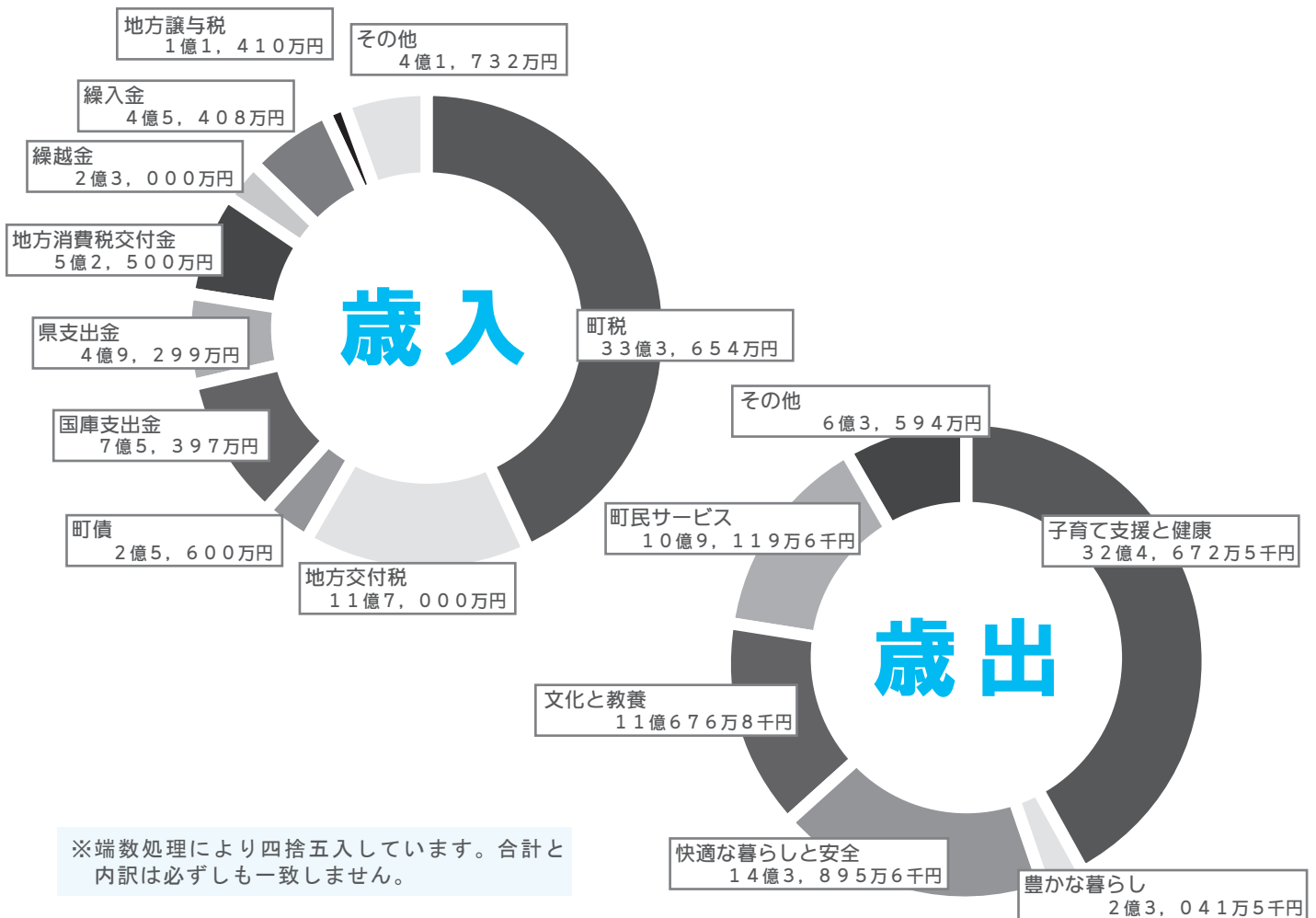
所管事務調査

13

令和5年3月定例会が、3月1日から3月14日までの14日間で行われました。町長提出議案21件が付託され、審議の結果、全議案を可決・同意しました。また、議員提出議案の「川島町議会の個人情報の保護に関する条例を定めることについて」は、全会一致で可決しました。

令和5年度
一般会計予算 **77億5,000**万円

対前年度比+3.2% (2億3,700万円増) ↗



項 目	予 算 額	主な予算科目
●子育て支援と健康	32億4,672万5千円	民生費 24億4,734万9千円 衛生費 7億9,916万4千円 労働費 21万2千円
●豊かな暮らし	2億3,041万5千円	農林水産業費 2億562万9千円 商工費 2,478万6千円
●快適な暮らしと安全	14億3,895万6千円	土木費 8億110万6千円 消防費 6億3,784万8千円
●文化と教養	11億676万8千円	教育費 11億676万8千円
●町民サービス	10億9,119万6千円	議会費 9,797万円 総務費 9億9,322万6千円
●その他	6億3,594万円	公債費 6億1,593万6千円 予備費 2,000万円

令和5年度予算はどのように使われる？

「まもる」未来に続く安全・安心な暮らしをまもる

高台避難場所整備事業

町外へ避難ができなかった方が、一時的に緊急避難する場所として高台避難場所を整備する事業です。令和5年度は用地取得等を行います。

8,373万8千円

带状疱疹ワクチン助成事業

50歳以上の方を対象に带状疱疹ワクチンにかかる費用（1回あたり4,000円）を助成する事業です。

224万円

福祉まるごと総合支援事業 (重層的支援体制整備事業)

介護・障がい・子育て・生活困窮の各分野の事業の連携が図られるようコーディネートを行い、複数の機関や相談先（重層）で対応できる体制を整え、高齢者が安心して相談できる体制も充実します。

7,840万9千円

ごみ処理広域化協議会事業

ごみ処理を広域で共同処理するため、ごみ処理広域化協議会を立ち上げます。また、新ごみ処理施設の整備に向けて、ごみ処理基本計画、施設整備基本構想、循環型社会形成推進地域計画の策定を行います。

2,673万6千円

ごみ処理安定化事業

ごみ処理施設の老朽化対策や災害時への備えから、民間事業者との協定により、可燃ごみの一部の焼却処分の委託を行う事業です。

2,860万円

主要地方道日高川島線整備事業

県と相互に協力して、主要地方道日高川島線の整備を推進する事業です。令和5年度は物件調査を行います。

730万円

「つなぐ」未来に向けて人と人をつなぐ

かわじま郷土資料館（仮称） 開設準備事業

文化財を保護・活用し、歴史文化を学ぶことができる「かわじま郷土資料館（仮称）」の展示内容の検討・整備を進める事業です。

84万5千円

交流促進事業

町内外への町の魅力を発信するため、町と各団体との協働によるイベント等を開催し、交流人口の拡大や地域活性化につなげる事業です。

283万円

「つくる」未来へ輝く稼ぐ地域をつくる

地方創生推進事業

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用し、町内事業者へのふるさと納税制度を利用した販売力向上への支援や地域資源のPR情報誌の作成、地域商社への支援を行うための事業です。また、地域商社への職員派遣の継続や県補助金を活用し、地域おこし協力隊を配置します。

2,678万7千円

輝け！農業イノベーション応援事業

農業分野へのロボット技術や ICT 等の先端技術を活用した機器導入や農産物の販路拡大等を目指す新規就農者・認定農業者の支援を行う事業です。

500万円

「そだてる」未来へはばたく人財をそだてる

学校統合推進事業

小中一貫教育校の開校に向け、川島町小中一貫教育推進協議会や新たに設置する小学校統合協議会で、学校や保護者、地域の意見を取り入れながら、小中連携・交流・研究を進める事業です。

467万2千円

小中一貫教育校整備事業

令和7年度の小中一貫教育校の開校に向けて、小学校低学年棟の建築や川島中学校の校舎改修のための設計業務等の事業です。

6,099万3千円

民間連携による水泳事業

民間スイミングスクールと連携した水泳授業を実施し、児童の更なる泳力の向上と教員の水泳指導力の向上を図る事業です。全ての小学校で水泳授業を実施します。

854万1千円

町立保育園給食事業

3歳児から5歳児クラスにも主食の提供（川越藩のお蔵米など）を始めます。また、3歳児から5歳児クラスの主食費月額 700 円と食材費の高騰分、副食費の一部月額 300 円を町が負担します。

1,760万円

幼稚園給食費無償化事業

副食費免除世帯や、第3子以降の子どもの給食費を全額助成する事業です。また、それ以外の子どもがいる保護者には、月あたり一律1,000 円を助成する事業です。

429万円

小中学校第3子以降給食費無償化事業

多子世帯への保護者の負担軽減を図るため、第3子以降の小・中学生の給食費を全額助成する事業です。

870万円

民間認定こども園施設整備事業

0歳～2歳児を受け入れ、認定こども園を新たに始める私立幼稚園に対し、認定こども園の園舎建設にかかる施設整備費の一部を補助する事業です。

1億2,230万5千円

0・1・2歳児子育て支援用品支給事業

町内に住所を有する0歳～2歳児保護者が、カタログの中から選んだ紙オムツや離乳食などの子育て支援用品をお届けする事業です。1人あたり 20,000 円相当に増額します。

400万円

トルコ・シリア地震被害に対する見舞金について

川島町議会は、12人の全議員賛同のもと、トルコ・シリア地震による被害に対して、被災者を勇気づけ、被災者支援に役立てるため、見舞金として10万円を日本赤十字社に送りました。

トルコ・シリア地震による被災者の方々に心からお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を表します。被災地の一刻も早い復旧復興を、心より願っております。

議員提出議案

川島町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

国では「個人情報の保護に関する法律」の改正を行い、国・地方公共団体等における個人情報の取り扱い等について、全国的な共通ルールを規定しました。

しかし、議会については、この共通ルールの適用除外となるため、川島町議会では「個人情報の保護に関する法律」に準じて、「川島町議会の個人情報の保護に関する条例」を制定することとし、令和5年3月定例会で議員提案され、全会一致で可決しました。

これにより、川島町議会の個人情報保護制度は、令和5年4月1日以降、「川島町議会の個人情報の保護に関する条例」に基づく制度となります。

川島町議会 インターネット録画配信のご案内

町議会のHP又は下記の
QRコードから↓



川島町議会のホームページにて、本会議の様子を録画配信しております。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

総務経済建設常任委員会

かわみんタクシー

問 かわみんタクシーの料金が高くなって、乗るのを控えている方がいるが町の考えは。

答 料金が高くなったことで乗り控えているお客様がいる話は聞いていますが、75歳以上の方への軽減措置等を設けています。自己負担額の支払いが厳しい方の場合は、福祉と連携して取り組む問題と考えます。

高台避難場所

問 高台避難場所について、土地購入費は不動産鑑定等を実施して計上しているのか。

答 単価は暫定で町の道路用地を買収する単価で計算し、予算計上しています。新年度に不動産鑑定を実施し、改めて単価を決定したいと考えています。

農業者支援

問 認定農業者や新規就農者などには手厚い補助があるが、小規模農業者への補助は。

答 小規模で営んでいる農業者についても、経費がかさみ大変だという声もありますので、必要な施策・予算について、関係課と協議しながら検討していきたいと考えています。

水害時での町内避難場所を整備

委員長コメント

町では水害時の避難については、町外への広域避難を基本としていますが、逃げ遅れた方が一時的に避難する場所として、出丸地内に高台避難場所の整備を進めています。造成の広さは東京ドームの面積の半分程度で、最上段に駐車スペースを整備する予定です。



高台避難場所(出丸地内)の予定地を視察

上水道事業赤字

問 水道料金は、経営状況が厳しいことから、令和5年も約3,600万円のマイナスになると思う。赤字で事業が持ちこたえられる試算は。

答 現状の経営状況ですと、内部留保資金が令和20年度前後にはかなり逼迫してくると試算しています。今後料金値上げについての議論は必要な状況であると考えます。

ふるさと納税

問 ふるさと納税について、用途を明確にすることで、寄附者に響くと思うが。

答 具体的に充当した政策については、寄附後のことでタイミングが難しいですが、情報発信については、色々な工夫をしていきたいと考えています。

空き家対策

問 町は空き家の件数や現状を把握しているか。また、取り壊した後の更地の取り扱いは。

答 空き家件数は把握していますが、より柔軟な対応が出来るように空き家リストの再整備を進めています。空き家を解体した更地は、開発や建築に係る条件が様々なため、個々の状況等を確認し、整理をしていきたいと考えています。

文教厚生常任委員会

小中一貫教育校

問 川島中学校と同じ所在地に統合するつばさ南小学校、つばさ北小学校を置く条例とは。

答 平成30年4月につばさ南小学校、つばさ北小学校を開校し、次の段階として、川島中学校を核に施設一体型の小中一貫教育を進めるための条例改正です。

带状疱疹ワクチン

問 带状疱疹ワクチンの助成とは。

答 50歳以上の方を対象に生ワクチン100人分、不活化ワクチン230人分に対し、1回、4,000円を助成するものです。助成方法は、償還払いを考えています。

重層的支援体制整備事業

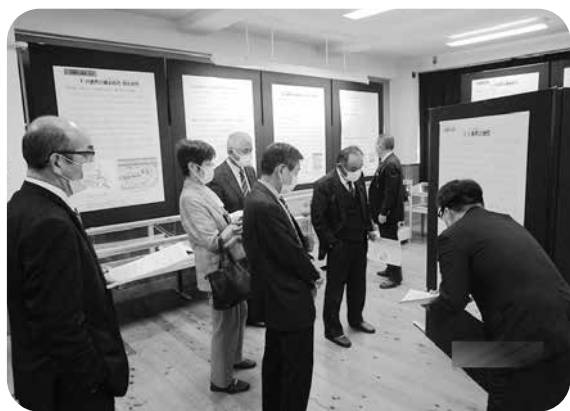
問 重層的支援体制整備事業の目的は。

答 病気、障がい、介護、子育て、生活困窮等の複合的な課題を抱える方に対して、複数の機関や相談先で対応できる体制を整備する事業で、町と社会福祉協議会が拠点となり実施するものです。

町の歴史資料を展示

委員長コメント

旧小見野小学校を活用してオープンした「かわじま郷土資料展示室」には、縄文時代から現在までの歴史、自然・地理などの紹介や土器、写真、地図などが展示されていました。郷土の歴史を知るためにも多くの方が来場されますことを願っています。



かわじま郷土資料展示室を視察

学校給食費補助

問 小・中学校児童生徒の第3子以降の学校給食費補助の内容は。

答 町内に住所を有し、子どもが3人以上いる世帯に対し、3人目以降の児童生徒の給食費を無償にし、私立小中学校の児童生徒に対しても、町の学校給食費相当額を補助します。

民間認定こども園

問 認定こども園の概要は。

答 保育園と幼稚園が一体となった施設です。0・1・2歳児は就労している保護者のお子さんを受け入れます。3・4・5歳児は保護者の就労に関わらず利用が可能です。

一体的実施事業

問 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業とは。

答 75歳の後期高齢者となった時に健康診査を受けていない方や受けても医療や予防に繋がっていない方へのアプローチをして、健康診査や介護の働きかけを令和5年度から実施します。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上程された議案	結 果	議 員 氏 名											
		加藤進	渋谷幸司	矢内秀憲	柴田一典	稲村美代子	新井悦子	爲水順二	森田敏男	菊地敏昭	道祖土証	小高春雄	小峯松治
新規条例の制定													
川島町個人情報保護法施行条例の制定	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
条例の一部改正													
川島町印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町立小中学校設置条例の一部改正	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	―
川島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び川島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町交通遺児手当支給条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
川島町国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
条例の廃止													
川島町若者の定住促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度 補正予算													
令和4年度川島町一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和4年度川島町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度 当初予算													
令和5年度川島町一般会計予算	可決	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度川島町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度川島町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度川島町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度川島町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
令和5年度川島町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の廃止・認定													
町道路線の廃止（町道3091号線外15路線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
町道路線の認定（町道3569号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
人事に関すること													
副町長の選任（石島一久氏 再任）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
教育委員会教育長の任命（関口敬氏氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
教育委員会委員の任命（天宮 弘氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
議員提出議案													
川島町議会の個人情報の保護に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

（※議員名は、議席順となっております。）



町の考えを問う

町政一般質問要旨 3月10日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。
※質問項目の区分により太字にしています。

<p>2 1 子宮頸がんワクチンについて</p>	<p>新井 悦子 議員</p>	<p>1 少子化対策の考え方と対応について</p>	<p>柴田 一典 議員</p>	<p>3 2 1 川島町の農業政策について 相続土地国庫帰属法について 税金について</p>	<p>菊地 敏昭 議員</p>	<p>3 2 1 八幡地区の下水逆流問題について 給食に地場産物の活用を推進する事について 平和事業について</p>	<p>渋谷 幸司 議員</p>	<p>1 不登校児童・生徒について</p>	<p>稲村 美代子 議員</p>
------------------------------	------------------------	---------------------------	------------------------	--	------------------------	--	------------------------	-----------------------	-------------------------

問 すべての子供たちが学校へ通える環境を。

答 だれ一人取り残さない教育を進めていきます。

(不登校児童生徒について)

問 川島町の不登校の児童生徒の人数は。

答 令和2年度は小学生5人、中学生18人、令和3年度は小学生5人、中学生26人、令和4年度は小学生8人、中学生26人で、年々増加傾向にあり、大きな課題となっております。

問 2018年6月時点で、スクーリング・サポートセンターの相談のうち、不登校に関するものは65.7割を占めていたが、これに対し、教育委員会はどのような対策をしてきたのか。

答 月1回のカウンセリングスタッフ会議を開き、教育相談体制の充実を図ってきました。また、小学校への月1回の巡回支援訪問を通して、学習面や行動面に著しく困難を持つ児童生徒の支援策を学校と共に考えたり保護者の相談に乗ったりしながら、不登校の未然防止を図っています。

問 不登校児童生徒へのタブレット端末を利用したリモート授業へ

の取り組みは。

答 小学校では国語、算数を中心に、中学校では主要5教科を主として、学校での授業時にオンライン学習をしています。

問 不登校の子供、障がいがある子供を含め、すべての子供たちが楽しく学校へ通える環境を作って欲しい。

答 不登校の子供たち、障がいがある子供たちの対応も含めて、だれ一人取り残さない川島町の教育を進めて行きます。



稲村 美代子
いなむら みよこ



スクーリング・サポートセンター
(川島町子育て支援総合センター「かわみんハウス」内)

問 来年度の具体的な平和事業は。

答

映画「あの日のオルガン」の上映に取り組みます。

問 昨年12月には、「安保3文書」が国会での議論をせずに閣議決定され、日本の安全保障施策が大きく変えられようとしています。町民の生命と暮らしを守ることは町の最重要課題です。町の考えと、来年度に取り組む平和事業は何か。

答 平和な社会を未来へ引き継いでいくために、地道に丁寧に次世代に平和を訴えてまいります。来年度は、映画「あの日のオルガン」上映を実施します。

問 学校や保育園の給食に地場産農産物をより多く活用し、農業者の支援をしていくことが重要です。町の考えと、来年度は金額ベースで何%を目標とするのか。

答 生産状況や品目を確認しながら、できる限り町内の農業者が生産する農産物を活用していきます。なお、学校給食の地場産使用率は15%（令和4年度は17%）となっています。また、保育園給食では、3・5%（令和4年度は1・8%）を目標とします。

問 台風19号の時に、八幡地区で



菊地敏昭

は137件の下水逆流が発生しました。令和5年度に取り組む「雨天時浸入水調査と対策工事」は何か。

答 令和5年度に、流量計を使い再調査してエリアを絞り、送煙調査などでさらに詳しく浸入箇所を調べます。



庁舎ギャラリーで非核平和パネル展（上尾市平和事業）

問 インボイス制度の影響は。

答

日本の8割の農家は免税事業者で、日本の食に与える影響は大です。

問 令和5年10月よりインボイス制度が開始され、現在免税事業者がインボイス発行事業者となるか選択を迫られています。農協やJA農産物直売所、シルバー人材センター登録事業者は、どのようなものか。

答 インボイス発行者になることができず小規模農家などは取引先を失う可能性すらあり、中間事業者はインボイス代理発行手続きの事務負担が考えられます。シルバー人材センターにおいても、会員の仕入れ額控除ができなくなるため、消費税納付額の増加が見込まれます。

問 法人町民税について令和3年の実績報告書によると、9号法人が一社減ったようですが、令和4年度の見込みは。

答 令和4年度は令和3年度と同数の7社になると見込んでいます。令和3年度は従業員の減少により、9号法人から7号法人の該当になりました。

問 町の汚泥肥料は、現在どのようになっているのか。



菊地敏昭

答 町では、し尿施設で施設開所の平成10年から平成23年まで製造配布を行っていましたが、平成23年の東日本大震災後、製造品から放射性物質が検出され、休止しました。平成26年に製造を取り止めています。町では、肥料高騰を受け、農業者への支援、持続可能な循環型社会の実現に資すので製造再開に向け検討しましたが、設備復旧や毎年の維持管理費が一億円程度見込まれ困難であると考えております。



製造されていた乾燥汚泥肥料

問

町の少子化対策の姿勢と対応は。

答

全庁挙げて取り組んでいきます。



柴田 典一
しば けんいち

問 国も一年間の出生数が、80万人を割ってしまう状況から、異次元の少子化対策を行い、関係予算も2倍程度確保する情報を発信しています。

答 そんな中、町全体の1年間の出生数が、60人を切るというショッキングな情報もあります。

合計特殊出生率を見ても、令和3年度で、全国が1・30、県が1・22、町が0・64という数字になっています。

これまでにも、子育てに対する様々な手当等の取り組みや、町独自の取り組みとして、3歳前までの子育て支援用品支給事業や、不妊治療なども行っています。新型コロナウイルスの影響が5%程度あるとの分析もありますが、ここ近年の出生数の推移は放置することができないところに来ていると思います。少子化対策は、国が大きな舵取りをし、最優先で積極的に行っていくべきものですが、町としても、合計特殊出生数を少しでも県に近づけるため、全庁を挙げての対応が必要であると思います。



目標は社会で育てる環境づくり

そこで、例えば、①(社)さまちかによる婚活事業(成功実績により報酬支払)、②公民館の跡地などに、民間事業者のノウハウを利用した賃貸共同住宅事業の取り組みなども早期に検討すべきではないかと思いますが。

答 ご指摘のとおり全庁挙げて取り組むべき課題と捉え、ご提案も含め、少しでも前へ進められるように、積極的に対応していきたいと思えます。

問

防犯対策に防犯カメラの設置は。

答

公共施設や公園に不審者の監視のために設置しています。



新井 悦子
あら い えつこ

問 住宅屋根の修理工事を巡るトラブルで高齢者が被害にあっています。特に、インターホンのない家に訪問され、契約をしようとするものがあります。悪質な訪問販売に引っ掛からないよう注意喚起や防犯カメラの設置が必要と考えるが。

答 令和5年4月より定期接種となるが、安全性や周知方法は。従来ワクチンにがんの予防となる5つの型を加えたもので90%以上の予防効果があります。安全性に関しては従来ものと変わりありません。定期接種対象者及び保護者に予防票とともに通知文を郵送し、町ホームページや広報等で周知します。



防犯カメラ (川島町民体育館)

問 町の犯罪件数は微増傾向にあり、防災無線やかわべメールを活用し注意喚起を行っています。防犯に対する意識の向上や地域における防犯パトロールなど自主的な防犯活動に対する支援や、必要な対策を講じて安全安心な町づくりに努めます。また、公共施設や公園に不審者の監視のために防犯カメラを設置しています。

問 自動販売機の設置業者が防犯カメラを無償で設置することが自治体に広まっているが。

答 公園内は、災害対応型の自動販売機を設置していますが、設置業者と今後協議していきます。

問 子宮頸がんワクチンの9価が

地方創生・行財政特別委員会

委員会活動の経過（令和4年度）

第3回特別委員会

- 地域商社の運営状況について
- ・「一般社団法人さまちか」の事務局長より、地域商社の運営状況について報告を受けました。
- 川島町公共施設等総合管理計画の実施状況について
- ・町担当課より、今までの経過等を含め説明を受けました。
- 先進地視察について
- ・公共施設計画を体系的な中で整備している茨城県小美玉市へ9月定例会後に視察に行く計画を立てました。

しかし、先進地視察については、9月議会定例会後に視察を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、視察を中止としました。

まとめ

本特別委員会の今日までの調査、研究の概要は以上であります。昨今の社会情勢の著しい変化の中で、公共施設個別計画を含めた町の総合管理計画の中で、持続可能や複合化、集約化、統廃合に伴い今後不要になると予想される施設、公民館等もありますので、今後の検討



川島町役場庁舎

課題にしたいと考えています。また、子どもたちは未来への希望であり、川島町の宝です。保育園のあり方も含め、若い世代の方に「子育てするなら川島町」と思っていたら、子育てにやさしく、快適で暮らしやすいまちづくりを進められるようにしていきたいと考えます。

委員会活動の経過（令和4年度）

第4回特別委員会

- ・第4回川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討委員会の報告について
- 会議結果の報告を受けました。

第5回特別委員会

- ・川島町一般廃棄物処理施設建設候補地検討報告書について
- 報告書に基づき、建設候補地3か所について、報告を受けました。

特別委員会として、議長に提言することになりました。その後、町長へ議会としての意見を出すことになりました。

●特別委員会の意見

（令和4年3月16日議長へ提出）

- 1 浸水・水害対策に十分配慮すること。
 - 2 災害時も安定したごみ処理事業が継続できること。
 - 3 地域住民の理解が得られる場所を選定すること。
- 議会としても、候補地の選定が円滑に進むよう、令和4年3月22日町長へ議会の意見（特別委員会の意見と同じ）として、提出しました。

第6回特別委員会

- ・川島町一般廃棄物処理施設建設候補地の選定について
- 建設候補地として、三保谷宿（南）

ごみ処理施設の建設に関する特別委員会

を選定したことの報告を受けました。

- ・令和4年度ごみ処理施設建設に関する特別委員会視察について
- 視察先として、静岡県富士市新環境クリーンセンター、東京都町田市バイオエネルギーセンターとしました。

行政視察

- 令和4年10月20日・21日
- 富士市新環境クリーンセンター（静岡県富士市）
- 町田市バイオエネルギーセンター（東京都町田市）

まとめ

本特別委員会の今日までの調査、研究の概要は以上であります。昨今の社会情勢の著しい変化の中で、町単独での施設整備は非常に困難ですので、1市1町の広域でごみ処理を行うことで事業が進んでいますので、今後は、さまざまな処理方式、将来に向けたごみ処理の姿を検討し、広域処理としての利点を明らかにしていただきたいと思います。

川島町議会運営委員会所管事務調査報告

令和4年11月15日 長野県北佐久郡軽井沢町を視察

◆通年議会

軽井沢町では、議会改革の目的として、町民にいかにして議会の役割・重要性を理解していただくかということ、議会報告会を平成20年度から実施し、また、権利機能を取り戻し、議会を知ってもらう努力として、通年議会を平成23年から実施し、議員同士の活発な意見交換、自由討議の場づくりとして議会基本条例を平成23年度に制定しました。

平成22年3月第1回定例会から通年議会制を試し、平成23年1月から通年議会本実施に向けた条例改正案の可決、定例会条例の全部改正、通年議会実施要綱の制定、議会定例会の召集時期に関する規則の全部改正を実施しました。今まで、町長の招集により、一年4回の定例議会と必要に応じて臨時議会を開催し、その都度開・閉会をしていきましたが、通年議会は、年初頭から会期を12月までの1回とし、その期間は議長の権限でいつでも再開できます。このため、常に議会中であるため議員の活動と緊張感が高まり、議員の質の向上と議会の活性化が望めます。通年議会は、議会改革の一環として導入したので、地域住民との連携などが強化されました。

◆議会活性化特別委員会の設置

軽井沢町では、議会改革を継続して発展させるため、平成15年議会改革検討特別委員会を設置し、町議会災害行動マニュアルの策定、予算決算常任委員会・広報広聴常任委員会の設置を行いました。平成27年5月、議会活性化特別委員会を設置し、議会ICT化の充実②議員相互の自由討議③議会からの政策提言④広報広聴の充実・強化⑤連続性のある予算・決算の検討⑥議会基本条例の検証⑦規則及び申し合わせ事項の見直し⑧政策サポーター・議会だよりモニター制度の導入検討⑨議会力、議員力向上のための取組等について、調査検討を行っています。

現在、議会ICT化の充実では、議会ICT化プロジェクトチームを設置し、調査検討を行い、令和5年度から議会へのタブレット端末の導入、及びペーパーレス会議システムの導入を検討しています。

◆所管事務調査を終えて

川島町議会においても、町民の信託にこたえ、開かれた存在感のある議会を築くため、今後この研修を参考として、議員の意見を十分に取入れた議会運営の活性化に取り組みたいと思います。

比企広域市町村圏組合議会

小峯 松治
菊地 敏昭

令和5年第1回比企広域市町村圏組合議会定例会は、2月10日に開催されました。上程された議案は、消防関係を除き、全11議案です。

議案第1号 比企広域公平委員会委員の選任については、吉見町の松本かおり氏を選任することについて、全員賛成をもって同意されました。

議案第2号 比企広域市町村圏組合個人情報保護に関する法律施行条例の制定については、個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、同法の施行について必要な事項を定めるため、制定するものです。

議案第3号 比企広域市町村圏組合職員の定年等に関する条例等の一部改正等については、地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年を60歳から65歳に段階的に引き上げるとともに、60歳から65歳の職員の処遇に係る各般の規定を設けるものです。

議案第4号 比企広域市町村圏組合一般職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正については、人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に鑑み、一般職職員の給料及び勤勉手当の改正を行うものです。

議案第7号 令和4年度比企広域市町村圏組合一般会計補正予算(第2号)は、予算の総額に変更はなく、歳出の内訳を変更するものです。

議案第9号 令和4年度比企広域市町村圏組合斎場及びききゅう自動車事業特別会計補正予算(第2号)は、

歳入歳出それぞれ1億8,614万8千円とするものです。

議案第10号 令和4年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算(第2号)は、歳入歳出それぞれ8,010万2千円とするものです。

議案第11号 令和5年度比企広域市町村圏組合一般会計予算は、歳入歳出それぞれ6,850万円にするものです。

議案第13号 令和5年度比企広域市町村圏組合斎場及びききゅう自動車事業特別会計予算は、歳入歳出それぞれ2億1,600万円にするものです。

議案第14号 令和5年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計予算は、歳入歳出それぞれ7,100万円にするものです。

議案第15号 令和5年度比企広域市町村圏組合公平委員会特別会計予算は、歳入歳出それぞれ122万円にするものです。

議員提案議案第1号 比企広域市町村圏組合議会の個人情報保護に関する条例の制定については、比企広域市町村圏組合議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めるため、新たに制定するものです。

採決の結果、全議案とも全員賛成をもって原案可決されました。

(菊地)

川越地区消防組合議会

道祖土 森田 敏男 証
加藤 敏進

令和4年川越地区消防組合議会第4回臨時会が12月27日に開催されました。上程された議案は、議案第13号、議案第14号及び議案第15号の3件です。

議案第13号 川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについては、消防職員の給与の改定を行うものです。

議案第14号 川越地区消防局・川越北消防署新庁舎造成工事請負契約の変更については、契約金額等の変更を行うもので、変更後の額を1億7,620万9,800円とし、工期も令和5年3月31日までとするものです。

議案第15号 令和4年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出予算にそれぞれ7,810万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ56億1,277万9千円にするものです。

採決の結果、全議案とも全員賛成で原案可決されました。(加藤)

議会日誌

1月

- 6日 議会報編集委員会
- 7日 川島町消防出初式
- 8日 二十歳の成人式
- 12日 川島町賀詞交歓会
- 27日 比企郡町村議会議員研修

2月

- 13日 議会全員協議会
議会運営委員会協議会
- 24日 議会運営委員会
議会全員協議会

3月

- 1日~14日 3月定例会
- 3日 議会報編集委員会
- 14日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 28日 議会報編集委員会

比企郡町村議会議員研修会

研修日 1月27日 午後2時
場所 フレサよしみ
(吉見町民会館)

演題 自治体DXと地方議会の役割

講師 総務省地域情報化アドバイザー 宮崎昌美氏

令和4年度比企郡町村議会議長会主催による議員研修会が、1月27日に開催されました。講師に総務省地域情報化アドバイザーの宮崎昌美氏を迎え「自治体DXと地方議会の役割」について、講演をいただきました。

表紙解説

春は、卒業と進学、就職と別れと出会いの季節。3年間、コロナ禍の学生生活を過ごした中学・高校生が卒業しました。2020年4月に緊急事態宣言を受け、異例の学校生活が始まった年でした。それでもごく当たり前の毎日が皆と心を合わせ壁を乗り越えた日々だったと思います。政府は新型コロナウイルスの感染症法上の分類を5類に引き下げると発表。待ち望む当たり前の日常が広がることを期待しています。

さて、編集委員も最終号の発行となりました。議会の様子が皆様へ届いたでしょうか。これからも皆様の声を励みに日々精進してまいります。(写真・文章/新井)

6月の定例会予定

議案審議

一般質問

6/8(木)~15(木) / 6/13(火)~15(木)
6月定例会は6/8~6/15の予定です。

編集後記

この4年間に私たちは、大きな災害を経験しました。令和元年の台風19号では、新江川が決壊し、町内の避難場所に約3,000人が避難しました。人類が初めて体験する「新型コロナウイルス感染症」は、日常生活に大きな影響を及ぼして未だに終息に至っていません。

コロナ禍の影響もあり、川島町では少子高齢化が予想以上の速さで進行しています。そんな中で3月に開催された野球のWBC世界大会では、目標にむかって精一杯プレーする選手達の躍動する姿に感動しました。

野球に取り組む「若い情熱」は素晴らしい!いや「情熱に歳は関係ない!」私たちはこれからも、「かわじまが好き」を忘れずに町政発展の為に取り組んでいきます。(渋谷)

議会報編集委員会

委員長 新井悦子
副委員長 渋谷幸典
委員 柴田一典
委員 矢内秀憲
委員 加藤進
相談役 小峯松治